

(様式1)

平成28年度 千葉大学大学院看護学研究科附属看護実践研究指導センター
認定看護師教育課程（乳がん看護）研修生志願票

受験番号	※	氏名	ふりがな	写真貼付欄 縦4cm×横3cm
		生年月日	西暦 年 月 日生(満 歳)	
現住所	〒 - TEL ()			
合格通知を受ける場所	〒 - TEL ()			
免許取得年月日	(看護師)西暦 年 月 日		号	
学 歴 (高等学校以降、最終学歴まで記入すること。在学中も含む)				
(西暦)	年 月～	年 月	高等学校卒	
	年 月～	年 月		
	年 月～	年 月		
	年 月～	年 月		
	年 月～	年 月		
	年 月～	年 月		
職 歴 (看護師としての臨床看護実践以外の職歴を記入すること。)				
	年 月～	年 月		
	年 月～	年 月		
	年 月～	年 月		
	年 月～	年 月		

注1. ※印欄を除き、楷書で正確に記入してください。

注2. 数字は全て算用数字で記入してください。

(様式2)

番号※

氏名

平成28年度 千葉大学大学院看護学研究科附属看護実践研究指導センター
認定看護師教育課程（乳がん看護）選抜料振込領収書貼付欄

選抜料振込領収書貼り付け欄

注1 ※欄は記入しないでください。

注2 市中銀行等の窓口に備え付けの振込用紙の場合、金融機関により振込金受取書、領収証書、領収済通知書等名称が異なる場合がありますが、正規の領収書となるものなら何れでも使用できます。

注3 原本は不要です。出納印のある振込領収書のコピーを、はがれないように点線の枠内に糊付けしてください。

注4 市中銀行に備え付けられた用紙が点線の枠より大きな場合、枠外にはみ出してもかまいませんが、この用紙（A4サイズ）の範囲内に糊付けしてください。

実務研修報告書A

乳がん看護分野

1. 実務研修の経歴

1-1) 全実務研修歴 ^(※1)		(期間 ^(※2) 、所属施設名、職位)
年 月～ 年 月 (ヶ月間)	所属施設名： 職位：	
年 月～ 年 月 (ヶ月間)	所属施設名： 職位：	
年 月～ 年 月 (ヶ月間)	所属施設名： 職位：	
年 月～ 年 月 (ヶ月間)	所属施設名： 職位：	
年 月～ 年 月 (ヶ月間)	所属施設名： 職位：	
合 計		ヶ月間
1-2) 乳がん看護分野歴 ^(※3)		(期間、所属施設名、所属部署名 ^(※4) 、職位)
年 月～ 年 月 (ヶ月間)	所属施設名： 所属部署名 (特徴、主な対象者)： 職位：	
年 月～ 年 月 (ヶ月間)	所属施設名： 所属部署名 (特徴、主な対象者)： 職位：	
年 月～ 年 月 (ヶ月間)	所属施設名： 所属部署名 (特徴、主な対象者)： 職位：	
年 月～ 年 月 (ヶ月間)	所属施設名： 所属部署名 (特徴、主な対象者)： 職位：	
年 月～ 年 月 (ヶ月間)	所属施設名： 所属部署名 (特徴、主な対象者)： 職位：	
合 計		ヶ月間

※1 受験志願者の看護師としての看護実践の全経歴を記載する。(准看護師としての看護実践を除く)

※2 西暦で記載する。非常勤の場合は、150時間を1ヶ月に換算して記入する。産休・育休期間を除くこと。

※3 全実務研修のうち、乳がん看護に関する経歴を記載する。

※4 所属部署名とその部署の特徴、対象患者の主な疾患等を記載する。

2. 実務研修の実績 概要

上記1-2)に記載した全期間において、乳がん患者の看護を担当した事例数 ^(※5)	例
---	---

※5 継続的・中心的に患者に関わった事例の通算(概算)を記入する。

用紙が不足する場合は、この用紙をコピーして使用すること。

実務研修報告書B

乳がん看護分野

3. 乳がん看護分野歴における実務研修施設の概要 (※6)

施設名	当該分野に関する患者の年間症例数	「がん診療連携拠点病院加算」、「緩和ケア診療加算」、「緩和ケア病棟入院料」、「外来化学療法加算」「リンパ浮腫指導管理料」「がん患者指導管理料」などの有無など(※7)	当該分野の認定看護師及び当該分野に関連する認定看護師・専門看護師の人数とその分野名称 (※8)
	乳がん患者 例/年	「がん診療連携拠点病院加算」： 「緩和ケア診療加算」： 「緩和ケア病棟入院料」： 「外来化学療法加算」： 「リンパ浮腫指導管理料」： 「がん患者指導管理料」：	乳がん看護認定看護師： がん化学療法看護認定看護師： がん性疼痛看護認定看護師： 緩和ケア認定看護師： がん看護専門看護師： がん放射線療法看護認定看護師：
	乳がん患者 例/年	「がん診療連携拠点病院加算」： 「緩和ケア診療加算」： 「緩和ケア病棟入院料」： 「外来化学療法加算」： 「リンパ浮腫指導管理料」： 「がん患者指導管理料」：	乳がん看護認定看護師： がん化学療法看護認定看護師： がん性疼痛看護認定看護師： 緩和ケア認定看護師： がん看護専門看護師： がん放射線療法看護認定看護師：

※6 乳がん看護分野歴における施設の実績について、最低3年間分を記載する。
施設が複数の場合、施設ごとに実績を記載する。

※7 該当する加算・入院料について、有・無のどちらかを記載する。いずれも無い場合のみ、乳がん看護に係る専門外来や相談室設置の有無及び年間外来受診者数を記載する。

※8 該当者数を記載する。
該当者が無い場合のみ、受験志願者自身が当該分野の実務研修において主に指導を受けた人を記載する。認定看護師等の有資格者から直接指導を受ける機会があることが望ましいが、ない場合には部署の師長か主任等で分野の経験の5年以上あるものから指導を受けたことを記すか、あるいは施設外の認定看護師からの指導を受けた場合はそれを記す。

※9 記入しないこと。

【教育機関チェック欄】(※9)

- 免許取得後、通算5年以上実務研修をしていること。
- 上記の実務研修期間のうち乳がん患者の多い病棟あるいは外来等で通算3年以上実務研修をしていること。
- 乳がん患者の看護を5例以上担当していること。
- 現在、乳がん患者の看護に携わっていることが望ましい。

(様式5)

平成28年度 千葉大学大学院看護学研究科附属看護実践研究指導センター
認定看護師教育課程(乳がん看護) 研修生写真票

受験番号	ふりがな		写真貼付欄 縦4cm×横3cm 志願票と同じ写真を貼付
※	氏名		

注：※欄は記入しないでください。

..... 切り離さないこと

..... 切り離さないこと

平成28年度 千葉大学大学院看護学研究科附属看護実践研究指導センター
認定看護師教育課程研修生(乳がん看護) 受験票

受験番号	ふりがな		写真貼付欄 縦4cm×横3cm 志願票と同じ写真を貼付
※	氏名		

注：※欄は記入しないでください。

乳がん看護 事例要約 1

乳がん患者やその家族に関するあなたの看護体験の中から、2つの事例を選択し、患者の問題に焦点をあてて、下記の様式にしたがって、あなたの展開した看護を記述して下さい。記述の中には、患者の問題をどのようにみたか（あなたの問題に対する判断）、どのようにかかわったか（介入）、その結果どのような変化がおこったか、展開した看護の評価も含めて記入して下さい。パソコン・手書きは自由ですが、文字の大きさは10～11ポイント程度とし、この枠におさまる長さとしてください。なお、個人情報保護に十分留意の上、ご記入ください。

(パソコンで作成し、印字した用紙を貼り付けても結構です。ただし枠内に貼付してください。)

事例1 【診断名、患者プロフィール、治療の概要】

【看護の展開】

(様式7-2)

番号※ _____ 氏名 _____

乳がん看護 事例要約 2

事例2 【診断名、患者プロフィール、治療の概要】

【看護の展開】

(様式8)

番号※

氏名

チェックリスト

同封する書類等は、下記のチェック欄に☑を記入してご確認ください。

- 志願票 (様式1)
- 選抜料 (様式2)
- 推薦書 (様式3)
推薦書の記載が困難な場合、下記のチェック欄に記入してください。
 - 所属施設退職予定のため
 - その他の理由
()
- 実務研修報告書 A、B (様式4-1、4-2)
(准看護師としての看護実践を除く)
- 写真票および受験票 (様式5)
- 志望理由書、看護研究業績および研修受講について (様式6)
- 乳がん看護事例要約1、2 (様式7-1、7-2)
- 看護師免許証の写し (A4版に縮小)
- 受験票返信用封筒
(本人宛の住所・氏名を記入し、792円分の切手を貼付する)
- チェックリスト (様式8)